

2024年度

環境経営レポート



【対象期間】2024年5月～2025年4月

【発行年月日】2025年9月5日



認証番号 0004553

株式会社阿部製作所

目次

	ページ
1. 環境経営方針2
2. 組織の概要3
3. 対象範囲4
4. 環境経営目標5
5. 環境経営活動計画6
6. 取組結果とその評価7
7. 環境経営目標の実績と評価8
7. 1環境活動風景9, 10, 11
8. 次年度の環境経営目標と環境経営計画12, 13
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認14
10. 代表者による全体評価と見直し・指示15

環境経営方針

基本理念

㈱阿部製作所は、環境負荷低減に取り組む世界の製造企業に金型及び部品を供給し、自社の生産においても環境に配慮した継続的改善を行うことで、顧客と共に、自然豊かな環境づくりに貢献する企業を目指し、同時に国連サミットに定めるSDGs目標の達成に貢献します。

行動指針

1. 二酸化炭素排出量の削減に向け、省エネルギー活動に取り組みます。
⇒SDGs 目標 No.13（気候変動抑制に具体的な対策に取り組みます。）
2. 分別の徹底と再資源化の推進に取り組み、廃棄物排出量の削減に努めます。
⇒SDGs 目標 No.14・No.15（適正な廃棄物処理を厳守します。）
3. 節水に取り組み、水使用量の削減に努めます。
⇒SDGs 目標 No.6（節水に取り組み、使った水は適正に処理します。）
4. 製造工程で使用する、薬品・オイル類の適正管理に取り組みます。
⇒SDGs 目標 No.12（環境に良い製品を使用し、グリーン購入にも取り組みます。）
5. 省エネ機器、自動車のEV化・HV化・自動運転化に関連した受注フィールドへの新たな参入を目指し活動します。
⇒SDGs 目標 No.9（環境に良い技術・仕事への挑戦を常に行ないます。）
6. 製品不良率の削減に取組み、加工再製作に依るムダの排除に努めます。
⇒SDGs 目標 No.7（エネルギーをムダなく大切に使用します。）
7. 事業活動に関連する環境関連法規則を遵守します。
⇒SDGs 目標 No.17（行政、地域と協力して環境保全に取り組みます。）
8. この方針を全従業員へ周知すると共に、環境経営システムの継続的改善を図っていきます。
⇒SDGs 目標 No.4（全従業員が環境保全に取り組み、ことの重要性をよく理解できるような教育を実施します。）

制定日 2009年3月9日

改訂日 2021年5月21日

株式会社 阿部製作所
代表取締役社長 阿部 文三

2. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社 阿部製作所

(2) 所在地

本社 岩手県北上市北工業団地 1 番 9 号

関連会社 阿貝精密電子(蘇州)有限公司 蘇州市相城区東橋鎮潘陽工業園 B2-4

(3) 環境担当

管理責任者 高橋こずえ TEL 0197-66-3121 FAX 0197-66-3122

エコ委員長 佐藤好浩 " "

事務局 川原正明 " "

(4) 事業活動の内容

プレス金型・モールド金型設計製作、各種装置部品および機械部品・治工具類の設計製作

(5) 事業活動規模

2024 年度 4 月決算

売上高 4 億 4 千万円 従業員数 37 名 建屋面積 3811 m²

(6) 社歴

昭和 36 年 9 月 個人会社阿部製作所創業

昭和 48 年 6 月 法人化改組「株式会社 阿部製作所」となる

昭和 63 年 3 月 北上工場建設開始 岩手東芝エレクトロニクス(株)様の協力工場となり

半導体後工程委託加工開始

平成元年 2 月 北上工場完成 花巻より北上市へ新築移転

金型工場金型製造部門稼働開始

平成 12 年 12 月 ISO9001 認証取得

平成 15 年 7 月 中国 阿貝精密電子(蘇州)有限公司 稼働開始

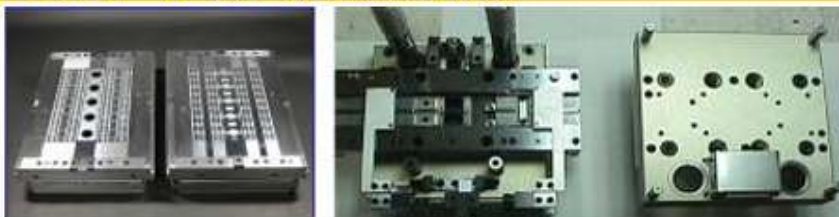
平成 20 年 12 月 ISO9001/2008 年度版へ移行

平成 22 年 1 月 エコアクション 21 認証・登録

平成 28 年 10 月 岩手県職業能力開発協会 技能検定促進功労賞 受賞

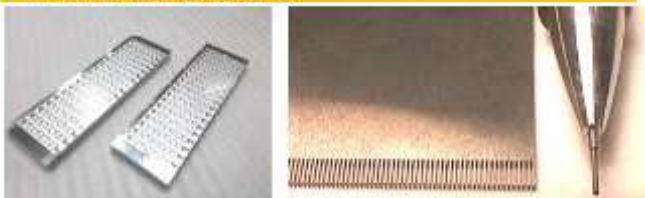
平成 29 年 12 月 ISO9001/2015 年度版へ移行

■ 精密モールド金型・精密プレス金型事業



千分の一ミリの精度を必要とする半導体・電子部品等の組立工程で用いる金型を設計～部品製作～組立・試打調整まで一貫して行っております。

■ 精密加工部品事業



金型の使用により磨耗した消耗部品、生産品種切り替えによる交換部品、その他特に厳しい精度の要求される単品部品等、部品単位での設計・製作・修理等にも対応しております。

■ 装置部品事業



各種装置を構成する機械加工部品・治工具等について多品種少量にて1個から、ピンセットで掴む超小物からクレーンで運搬する大物まで各種柔軟に対応しております。

3. 対象範囲

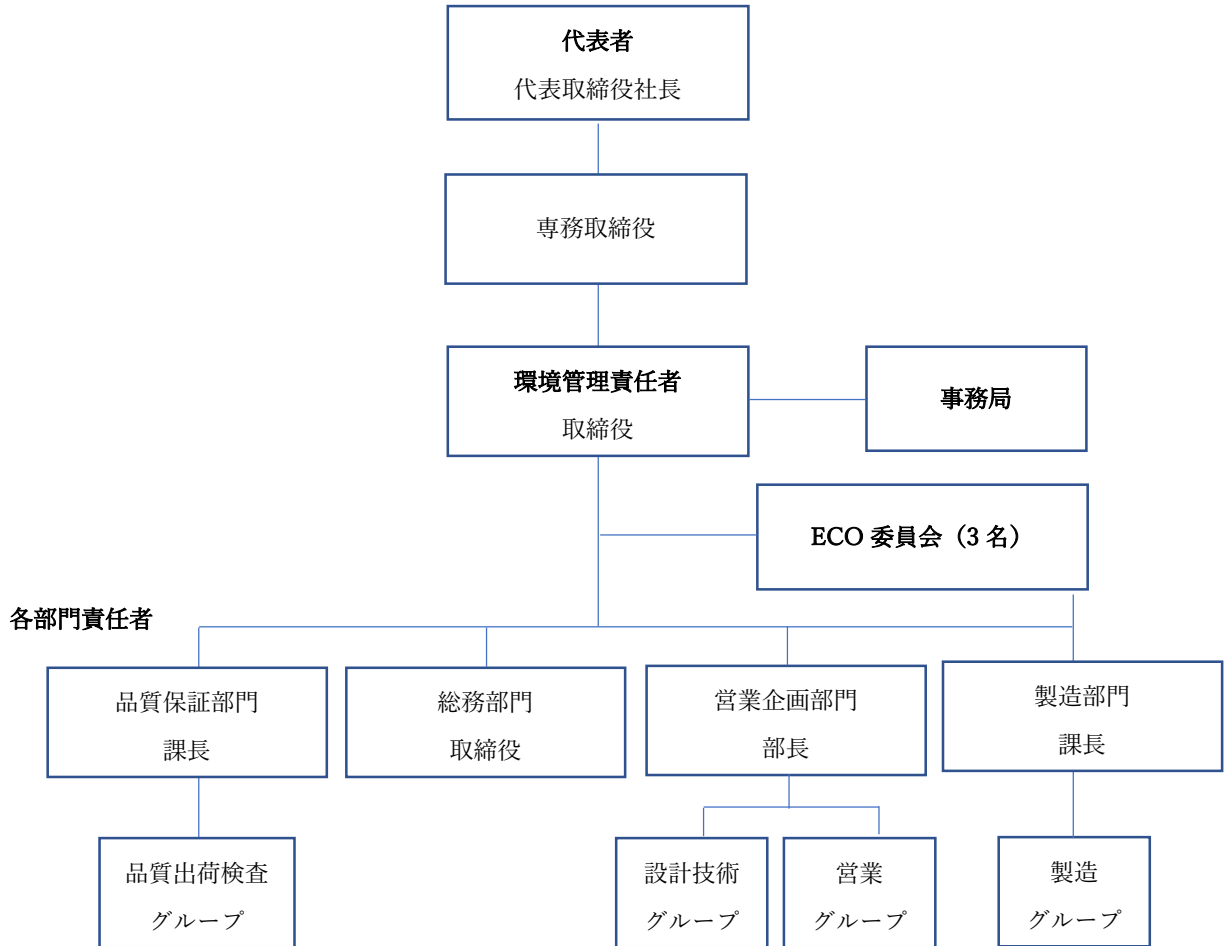
認証・登録範囲

(株)阿部製作所の全組織・全事業活動を対象としています。

対象期間

2024年5月1日～2025年4月30日

(株)阿部製作所 エコアクション 21 実施体制図



役割	責任と権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ①代表者は経営における課題とチャンスを整理し明確にする。 ②代表者は環境経営方針を策定する。 ③代表者は実施体制を構築し経営資源の準備をする。 ④代表者は全体の評価と見直しおよび指示をする。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ①代表者に代ってシステムを構築し運用する。 ②環境経営目標を決め、活動の実施状況を定期的に確認する。 ③代表者に結果を報告する。
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ①担当の部門において環境経営システムの実施および維持をする。 ②目標達成に向けた、省資源・省エネ・節水等に関する活動を奨励・実施、確認を行う。 ③従業員への教育訓練を実施する。
ECO委員会	<ul style="list-style-type: none"> ①環境経営目標、省資源・省エネ・節水や、加工で使用する OIL 類の安全管理など、活動案を作成する。 ②各部門へ目標達成に向けた活動の推進および実施をする。 ③教育訓練の計画および実施をする。 ④各環境負荷データの収集・記録管理をおこなう。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ①部門責任者のもと環境方針の理解と目標達成に向けた省資源・省エネ・節水など環境負荷低減に努める。 ②決められたことは守り、環境活動へ積極的に参加する。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ①環境管理責任者の補佐をする。 ②環境に関する外部コミュニケーションの窓口。 ③継続的な改善活動の推進による組織の活性化に努める。

4. 環境経営目標

活動目標	単位	基準値 2021年	中期削減目標(3年)		
			2022年度	2023年度	2024年度
			0.5%	1.0%	1.5%
二酸化炭素排出量の削減 (電力)	kwh	927,451	922,814	918,176	913,539
	kg-CO ₂	447,031	444,796	442,561	440,326
二酸化炭素排出量の削減 (ガソリン・軽油・灯油・LPガス)	kg-CO ₂	23,517	23,399	23,282	23,164
二酸化炭素排出量合計 (電力 + 化石燃料)	kg-CO ₂	470,548			
CO ₂ 排出量合計 原単位評価	kg-CO ₂ /百万円	1,088	1,083	1,077	1,072
一般廃棄物排出量の削減	t	1.38	1.377	1.370	1.363
産業廃棄物排出量の削減	t	6.26	6.23	6.20	6.17
産廃排出量 原単位評価	t/百万円	0.0145	0.0144	0.0143	0.0143
水使用量の削減	ℓ	635	632	629	625
製造工程で使用する、 薬品・オイル類の適正管理	使用量(kg)	PRTR対象 極少量 (0.13kg)	薬品・OIL類の適正管理		
省エネ機器、自動車の EV・HV・自動運転化関連 受注フィールド参入			関連製品の 製造技術 習得	関連分野への 受注フィールド参入	
製品不良率の削減	%	1.03	0.50	0.75	0.50
環境関連施設の維持管理と 環境美化活動実施			環境関連施設の点検・メンテナンス実施と 環境美化活動の継続実施		
無事故・無災害の為安全活動			無事故・無災害の為の安全運動 の継続実施		
環境・安全教育訓練			教育訓練の継続実施		
環境マネジメントシステム維持・継続			EMS維持・継続		

・二酸化炭素排出係数は環境省(2021年)の東北電力実排出係数0.482kg-CO₂/kwhを使用

・エネルギー使用量(CO₂)に関しては、原単位評価(売上高)とする。

基準年は2021年度実績を用い、そこから3年間を中期目標と設定している(2022年～2024年)。今年2024年が中期目標の最終年度となる。目標値は各項目0.5%/年の削減を目指す。但し、製品不良率の削減目標については前年度の発生原因分析結果から都度目標値を設定するものとする。

化学物質使用量の削減に関しては、PRTR制度対象物質を含む薬品は、その使用量が極少量である為、工作機械に使用しているOIL類と同様、適正な管理の維持を目標とする。

5. 環境経営計画(期間:2024年5月~2025年4月)

活動目標	取組内容	担当者
二酸化炭素排出量の削減 (電力)	第一工場で使用するエアコンのフィルター清掃	ECO委員会
	室内温度の適正管理(製造現場23±2℃ 検査室22±2℃)	全社員
	室内温度の適正管理(事務所・会議室 夏27℃ 冬22℃)	
	デマンド警報発報時、直ちに電力負荷機器をOFF及び社員に周知	事務所社員
	二酸化炭素量の把握(電力使用量・デマンド値データまとめ)	ECO委員会
休憩時間や未使用室の消灯、照明機器の消し忘れ防止(掲示物等)		
二酸化炭素排出量の削減 (ガソリン・軽油・灯油・LPガス)	エコドライブの実施(急発進と無駄なアイドリングをしない) 事務所・休憩室等の暖房消し忘れ管理(掲示物等)	全社員
一般廃棄物排出量の削減	可燃・不燃・資源の分別徹底(掲示物による明確化)	ECO委員会
産業廃棄物排出量の削減	廃油・廃ブラ・汚泥・木製パレット 等の分別、処分作業	ECO委員会
	マニフェストの管理	
	処分量の岩手県報告遵守	
	金属屑類の分別、リサイクル化	
	運搬・処分依頼先の視察(1回以上/年)実施	
水使用量の削減	水道使用量の把握(使用量データまとめ)	ECO委員会
	水道凍結防止管理として、 適正時期の凍結防止ヒーターON/OFF(10ヶ所)実施	
	節水の呼び掛け(掲示物等)	
	手荒い場、トイレ、厨房の水漏れ有無を、 環境点検チェックシートにて定期点検実施	
製造工程で使用する、 薬品・オイル類の適正管理	使用する薬品・オイルの安全使用の為のSDS管理	ECO委員会
	使用量チェックシートによる購入・残量の管理	全社員
省エネ機器、自動車の EV・HV・自動運転化関連 受注フィールド参入	車載用・産業機器用パワー半導体金型、5G用・データセンター用メモリー半導体金型の放電加工条件調査を実施	放電工程
	新規受注獲得の為の営業活動	営業企画部
製品不良率の削減	加工段取り作業の標準化や工程内作業教育の実施	全社員
環境関連施設の維持管理と 環境美化活動実施	全国月週間運動*による環境関連の呼びかけ(ポスター等)	ECO委員会
	フロン排出法に沿った簡易点検チェックシートによる点検実施	
	「廃棄物置き場」「環境関連施設」を環境点検チェックシートにて点検を行い、異常箇所は処置を実施	
	屋上・敷地内の落葉除去実施による排水経路の詰まり防止	安全衛生委員会
	敷地内及び会社周辺のゴミ拾い	
	敷地内雑草の除去	
第一工場動力室の維持・管理 (コンプレッサー安定稼働温度0~40℃の維持)	ECO委員会	
第一工場動力室の維持・管理 (室内の5S)		
無事故・無災害の為の 安全活動	全国月週間運動*による無事故・無災害の為の呼びかけ(ポスター等)	安全衛生委員会
	避難訓練や消防署による防災講習の計画・実施 (火災予防運動)	
	避難訓練の計画・実施(火災予防運動)	
	社有車・社員のタイヤ・ワイパー交換及び呼び掛け(交通安全運動)	
	社有車のチェックシートによる日常点検(交通安全運動)	
	工場設備安全管理(クレーン・フォークリフトの年次点検)	
環境・安全教育訓練	産廃物排出、処分業者説明会への参加	ECO委員会 安全衛生委員会
	各種環境点検や廃棄物分別処分作業にてOJT実施	
	廃油等漏洩や作業事故など緊急事態の想定訓練の実施	
環境マネジメントシステム 維持・継続	環境経営活動レポート作成・発行	事務局
	エコアクション21審査申し込み	

*環境:環境月間 夏エネ:夏の省エネキャンペーン 水週間:水の週間 3R:3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進月間 省エネ:省エネルギー月間
みどり:みどりの月間

*交通安全:春・秋の全国交通安全運動 全国安全:全国安全週間 電使安全:電気使用安全月間 労働衛生:全国労働衛生週間 火災予防:春・秋季全国火災予防
サイバー:サイバーセキュリティ月間

6. 取組結果とその評価(期間:2024年5月~2025年4月)

作成:2025年7月25日 SEC委員会

活動目標	取組内容	結果	評価
二酸化炭素排出量の削減 (電力)	第一工場で使用するエアコンのフィルター清掃	計画通り実施出来た	○
	室内温度の適正管理(製造現場23±2℃ 検査室22±2℃)	掲示物により実施が定着出来ている	○
	室内温度の適正管理(事務所・会議室 夏27℃ 冬22℃)	掲示物により実施が定着出来ている	○
	デマンド警報発報時、直ちに電力負荷機器をOFF及び社員に周知	警報無し	○
	二酸化炭素量の把握(電力使用量・デマンド値データまとめ)	毎月把握出来ている	○
	休憩時間や未使用室の消灯、照明機器の消し忘れ防止(掲示物等)	消し忘れなく定着出来ている	○
二酸化炭素排出量の削減 (ガソリン・軽油・灯油・LPガス)	エコドライブの実施(急発進と無駄なアイドリングをしない)	構内10km/h以下の遵守が定着していない	×
	事務所・休憩室等の暖房消し忘れ管理(掲示物等)	掲示物により実施が定着出来ている	○
一般廃棄物排出量の削減	可燃・不燃・資源の分別徹底(掲示物による明確化)	ダンボール重量計測抜けが見られる	△
産業廃棄物排出量の削減	廃油・廃ブラ・汚泥・木製パレット等の分別、処分作業	分別回収出来ている	○
	マニフェストの管理	常に適正に管理している	○
	処分量の岩手県報告遵守	遵守継続出来ている	○
	金属屑類の分別、リサイクル化	分別しリサイクル出来ている	○
	運搬・処分依頼先の視察(1回以上/年)実施	実施出来ている	○
水使用量の削減	水道使用量の把握(使用量データまとめ)	毎月把握出来ている	○
	水道凍結防止管理として、適正時期の凍結防止ヒーターON/OFF(10ヶ所)実施	忘れず実施出来ている	○
	節水の呼び掛け(掲示物等)	掲示物により継続出来ている	○
	手荒い場、トイレ、厨房の水漏れ有無を、環境点検チェックシートにて定期点検実施	計画通りに実施出来ている	○
製造工程で使用する、 薬品・オイル類の適正管理	使用する薬品・オイルの安全使用の為のSDS管理	SDS入手遅れが一部ある	△
	使用量チェックシートによる購入・残量の管理	実施出来ている	○
省エネ機器、自動車の EV・HV・自動運転化関連 受注フィールド参入	車載用・産業機器用パワー半導体金型、5G用・データセンター用メモリー半導体金型の放電加工条件調査を実施	大面積PKG放電加工は条件調査途中である	○
	新規受注獲得の為の営業活動	活動出来ており新規への試作品取組中	○
製品不良率の削減	加工段取り作業の標準化や工程内作業者教育の実施	必要な標準化に遅れがある	△
環境関連施設の維持管理と 環境美化活動実施	全国月週間運動*による環境関連の呼びかけ(ポスター等)	ポスター入手し掲示できている	○
	フロン排出法に沿った簡易点検チェックシートによる点検実施	点検実施出来ている	○
	「廃棄物置き場」「環境関連施設」を環境点検チェックシートにて点検を行い、異常箇所は処置を実施	点検実施出来ている	○
	屋上・敷地内の落葉除去実施による排水経路の詰まり防止	計画通り実施出来ている	○
	敷地内及び会社周辺のごみ拾い	計画通り実施出来ている	○
	敷地内雑草の除去	計画通り実施出来ている	○
	第一工場動力室の維持・管理(コンプレッサー安定稼働温度0~40℃の維持)	温度に苦慮しながらも実施している	○
無事故・無災害の為の 安全活動	全国月週間運動*による無事故・無災害の為の呼びかけ(ポスター等)	ポスター入手し掲示できている	○
	避難訓練や消防署による防災講習の計画・実施(火災予防運動)	計画的に実施出来ている	○
	避難訓練の計画・実施(火災予防運動)	計画的に実施出来ている	○
	社有車・社員のタイヤ・ワイパー交換及び呼び掛け(交通安全運動)	実施出来ている	○
	社有車のチェックシートによる日常点検(交通安全運動)	月の点検忘れが多い 仕組み見直し要	×
	工場設備安全管理(クレーン・フォークリフトの年次点検)	実施出来ている	○
	環境・安全教育訓練	産廃物排出、処分業者説明会への参加	未開催だった
環境・安全教育訓練	各種環境点検や廃棄物分別処分作業にてOJT実施	業者連絡含め良く出来ている	○
	廃油等漏洩や作業事故など緊急事態の想定訓練の実施	実施出来なかった	×
	環境経営活動レポート作成・発行	作成時期が遅い	×
環境マネジメントシステム 維持・継続	エコアクション21審査申し込み	申込時期が遅い	×

評価 ○:よく出来た △:もう少し ×:実施出来なかった

7. 環境経営目標の実績と評価(期間:2024年5月~2025年4月)

活動目標	単位	基準値 2021年	中期削減目標(3年)			2024年度 実績	達成率 (%)	評価
			2022年度	2023年度	2024年度			
			0.5%	1.0%	1.5%			
二酸化炭素排出量の削減 (電力)	kg-CO ₂	447,031	444,796	442,561	440,326	471,508	93	×
	Kwh	927,451	922,814	918,176	913,539	978,232	93	×
二酸化炭素排出量の削減 (ガソリン・軽油・灯油・LPガス)	kg-CO ₂	23,517	23,399	23,282	23,164	24,213	96	△
二酸化炭素排出量合計 (電力+化石燃料)	kg-CO ₂	470,548	468,195	465,843	463,490	495,721	93	×
CO ₂ 排出量合計 原単位評価	kg-CO ₂ /百万円	1,088	1,082	1,077	1,072	1,115	96	△
一般廃棄物排出量の削減	t	1.38	1.377	1.370	1.363	0.938	145	◎
産業廃棄物排出量の削減	t	6.26	6.23	6.20	6.17	12.90	48	×
産廃排出量 原単位評価	t/百万円	0.0145	0.0144	0.0143	0.0143	0.0290	49	×
水使用量の削減	ℓ	635	632	629	625	528	118	◎
製造工程で使用する、 薬品・オイル類の適正管理	使用量(kg)	PRTR対象 極少量 (0.13kg)	薬品・OIL類の適正管理			適正管理を 継続実施		
省エネ機器、自動車の EV・HV・自動運転化関連 受注フィールド参入			関連製品の 製造技術 習得	関連分野への 受注フィールド参入		大面積キャ ビティ放電加工 条件習得中		
製品不良率の削減	%	1.03	0.50	0.75	0.50	0.56	89	×
環境関連施設の維持管理と 環境美化活動実施			環境関連施設の点検・メンテナンス実施と 環境美化活動の継続実施			概ね実施		
無事故・無災害の為安全活動			無事故・無災害の為の安全運動 の継続実施			計画通り 実施		
環境・安全教育訓練			教育訓練の継続実施			実施出来 なかった		
環境マネジメントシステムの 維持・継続			EMS維持・継続			計画より遅れ		

【達成率 ⇒ ◎:105%以上 ○:100%以上 △:95%以上 ×:90%以上】

- ・二酸化炭素排出係数は環境省(2021年)の東北電力実排出係数0.482kg-CO₂/kwhを使用
- ・エネルギー使用量(CO₂)に関しては、原単位評価(売上高)とする。

弊社負荷の約95%を占める二酸化炭素排出量(電力使用量)の削減は、目標440,326kg-CO₂に対して、実績471,508kg-CO₂と目標未達成だった。休み時間の消灯、エアコンフィルター清掃など、ECO委員会を中心に出来る事はおこなっているのだが、大きな削減効果をもたらす迄には至らないのが実情である。

電力使用量(kwh)は、2021年の実績を基準とし2024年までに1.5%減の中期目標だったが、結果は3年間で+5.5%の増加。排出量の抑制もさることながら、電気代も高騰する中、経費を圧迫してしまうので、今後に向けては弊社の電力消費割合を調べ、効果の期待できる改善活動を見出していきたい。

産業廃棄物の削減については、年間総量12.9tと多く目標未達成であったが、そのうち8.1tは加工で発生した鉄や銅のキリコと端材のため、それらは全て廃棄処分業者へリサイクル回収依頼し再資源化できた。

水使用量の削減は目標達成。地中配管経路からの漏水大工事後、安定した数値に戻った1年間であった。

化学物資の削減は、製造工程で使用する薬品・OIL類の適正管理を継続実施中。



7.1.その他活動風景

今年も社員およびテナントの方々と合同で
火災避難訓練を実施しました



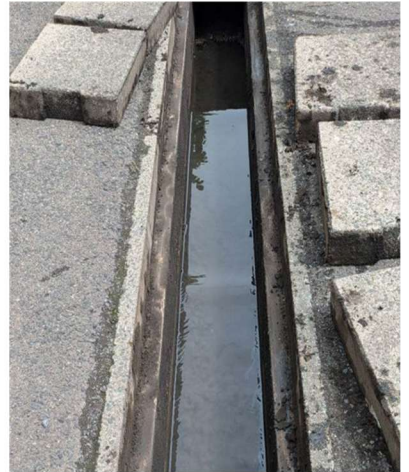
会社法面の草刈りと
周辺道路沿いのごみ拾い
を実施しました
ポイ捨ては年々減っている様です



会社周辺の歩道に「特定外来生物（アメリカオニアザミ）」
が自生しており駆除しました
厚めの袋ですら突き破る程の固く長いトゲがありました



数年ぶりに構内の側溝清掃を
実施しました



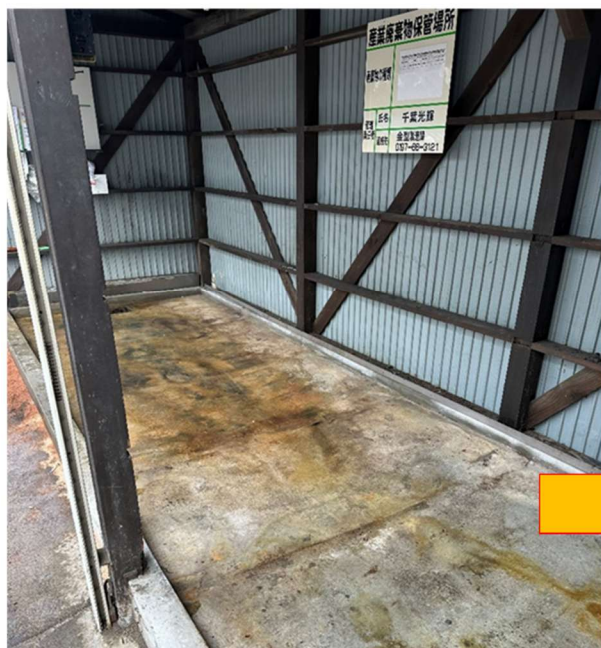
廃油やキリコなどの産業廃棄物置き場の清掃を実施しました



廃油とキリコを保管している廃棄物置で、経年劣化による床コンクリートのヒビ割れで隙間から油が
 しみ出てきた為、対策としてステンレスオイルパンとドラム缶専用パレットを購入し設置しました。



キリコ回収専用のドラム缶には、油分除去のため下に穴が設けてあるので、油切りした余分な油は置場の床にある程度溜める仕組みであるが、ヒビ割れによりしみ始めてしまった



コンクリート床へステンレスオイルパンを敷き
 その上にドラム缶専用のパレットを設置した。

パレットはドラム缶4本用、
 パレット内で油を溜める事
 も出来るのでダブルでの
 漏洩防止が可能となった。
 またフォークリフトが対応可能
 なので運搬の負担も軽減できた。



ドラム缶スパルパレット(ドレン付)



油類漏洩時の処置に使用している処理剤を一部変更しました

品名: オイルメディ(二次汚染防止型油処理剤: 鉱物油対象)

従来は希釈済みタイプを購入し使用していたが、経済性(購入価格や使用頻度)を考慮し希釈タイプから濃縮タイプに購入変更した。(水で10倍に希釈して使用するタイプ)
アスファルトやコンクリート上の水面に浮いた油は瞬時に除去出来ることから、油吸着材であるACライトと併用し油こぼし時等の処置で使用していく



産業廃棄物置場Bに設置



8. 次年度の環境経営目標と環境経営計画(期間:2025年5月~2026年4月)

活動目標	単位	基準値 2021年	中期削減目標(3年)		
			2025年度	2026年度	2027年度
			1.6%	1.8%	2.0%
二酸化炭素排出量の削減 (電力)	kwh	927,451	912,612	910,757	908,902
	kg-CO ₂	447,031	439,879	438,984	438,090
二酸化炭素排出量の削減 (ガソリン・軽油・灯油・LPガス)	kg-CO ₂	23,517	23,141	23,094	23,047
二酸化炭素排出量合計 (電力 + 化石燃料)	kg-CO ₂	470,548	463,019	462,078	461,137
CO ₂ 排出量合計 原単位評価	kg-CO ₂ /百万円	1,088	1,071	1,068	1,066
一般廃棄物排出量の削減	t	1.38	1.362	1.359	1.356
産業廃棄物排出量の削減	t	6.26	6.16	6.15	6.13
産廃排出量 原単位評価	t/百万円	0.0145	0.0144	0.0143	0.0142
水使用量の削減	ℓ	635	625	624	622
製造工程で使用する、 薬品・オイル類の適正管理	使用量(kg)	PRTR対象 極少量 (0.13kg)	薬品・OIL類の適正管理		
省エネ機器、自動車のEV・HV・自動 運転化関連の大面积半導体パッケージ 放電加工技術の確立 及び半導体以外の新規受注フィール ドへの販路拡大			大面积かつ微細面粗さパッケージ対応の 為の放電加工技術の確立 ・大型電極重量に耐える加工機の モディファイ ・軸運動と極間距離等の最適条件調査 (Ra1.0μm±10%) 各種商談会等への積極的参加にて新規 顧客を開拓		
製品不良率の削減	%	前年実績から都 度設定	0.50	0.50	0.50
環境関連施設の維持管理と 環境美化活動実施			環境関連施設の点検・メンテナンス実施と 環境美化活動の継続実施		
無事故・無災害の為安全活動			無事故・無災害の為の安全運動 の継続実施		
環境・安全教育訓練			教育訓練の継続実施		

- ・二酸化炭素排出係数は環境省(2021年)の東北電力実排出係数0.482kg-CO₂/kwhを使用
- ・エネルギー使用量(CO₂)に関しては、原単位評価とする(売上高 百万円単位で割る)。

2025年度からは2027年度までの3年間で中期目標と設定した。

基準値については、前期の目標未達成項目が多かったことから変更は見合わせ、前回同様の2021年度を基準値と設定した。

ただし削減率目標数値については、前期は1.5%迄の削減率だったが2.0%迄に見直し達成を目指す。

特に弊社環境負荷の大半を占める二酸化炭素排出量(電力使用量)の削減に注力し、環境負荷の低減、および経費の削減につなげていきたい。

また活動の士気を高めるためにも、教育訓練を計画し実行していく。

活動目標	取組内容	担当
二酸化炭素排出量の削減 (電力)	第一工場で使用使用するエアコンのフィルター清掃	ECO委員
	休憩時間や未使用室のこまめな消灯、照明機器の消し忘れ防止(掲示物等)	
	室内温度の適正管理(製造現場23±2℃ 検査室22±2℃ 事務所夏26℃冬24℃)	全社員
	休日や夜間帯など工作機械稼働状況に応じたエアコン設定温度変更管理 (季節毎の外気温度変化を把握の上、工場内管理温度内に入るよう効率良い設定へ変更)	ECO委員 課長
	工場内配電盤の整理による待機電力の削減	部長・課長
	工場内エア漏れ点検実施と漏れ箇所全箇所の修繕(バルブ/ホース/カブラ/機械内部等)	安全衛生委員
	土日休日など工作機械稼働時のコンプレッサー稼働構成の設定変更 (大容量タイプ2台、中容量タイプ1台、小容量タイプ1台の稼働構成変更で効率化)	安全衛生委員 課長
	デマンドの監視と電力使用量の把握 (30分間おきのデマンド値をデイリー-CHECKで監視、高い値の際は要原因調査)	課長 ECO委員
	工作機械の待機電力抑制に向けた調査と改善アイテムの施行	ECO委員会・課長
二酸化炭素排出量の削減 (ガソリン・軽油・灯油・LPガス)	エコドライブの実施と啓蒙活動(急発進と無駄なアイドリングをしない)	安全衛生委員
	事務所・休憩室等の暖房消し忘れ管理(掲示物等)	
一般廃棄物排出量の削減	可燃・不燃・資源の分別徹底(掲示物による明確化)	ECO委員
産業廃棄物排出量の削減	廃油・廃ブラ・汚泥・木材 等の分別、処分作業	ECO委員
	マニフェストの管理	
	処分量の岩手県報告遵守	ECO・安全衛生委員
	金属屑類の分別、リサイクル化	
	運搬・処分依頼先の視察(1回以上/年)実施	
水使用量の削減	水道使用量の把握(使用量データまとめ)	ECO委員会
	水道凍結防止管理として、 適正時期の凍結防止ヒーターON/OFF(10ヶ所)実施	
	節水の呼び掛け(掲示物等)	
	手荒い場、トイレ、厨房の水漏れ有無を、 環境点検チェックシートにて定期点検実施	
製造工程で使用する、 薬品・オイル類の適正管理	使用する薬品・オイルの安全使用の為のSDS管理、使用上の注意喚起	ECO委員会
	使用量チェックシートによる購入・残量の管理	
省エネ機器、自動車のEV・HV・自動運 転化関連の大幅面積半導体パッケージ放 電加工技術の確立 及び半導体以外の新規受注フィールド への販路拡大	大面積かつ微細面粗さパッケージ対応の為の放電加工技術の確立 ・大型電極重量に耐えうる加工機のモディファイ ・軸運動と極間距離等の最適条件調査(裂地面全面均一、Ra1.0μm±10%)	放電工程
	各種商談会等への積極的参加にて新規顧客の開拓	営業企画部
製品不良率の削減	加工段取り作業の標準化や工程内作業教育の実施	課長 品質保証課
環境関連施設の維持管理と 環境美化活動実施	全国月週間運動*による環境関連の呼びかけ(ポスター等)	ECO委員会
	フロン排出法に沿った簡易点検チェックシートによる点検実施	
	「廃棄物置き場」「環境関連施設」を環境点検チェックシート にて点検を行い、異常箇所は処置を実施	
	屋上・敷地内の落葉除去実施による排水経路の詰まり防止	ECO委員 安全衛生委員
	敷地内及び会社周辺のゴミ拾い	
	敷地内雑草の除去	
無事故・無災害の為の 安全活動	第一工場動力室の維持・管理 (コンプレッサー安定稼働温度0~40℃の維持 室内の清掃)	安全衛生委員
	全国月週間運動*による無事故・無災害の為の呼びかけ(ポスター等)	安全衛生委員
	避難訓練や消防署による防災講習の計画・実施 (火災予防運動)	部長 安全衛生委員
	避難訓練の計画・実施(火災予防運動)	安全衛生委員
	社有車・社員のタイヤ・ワイパー交換及び呼び掛け(交通安全運動)	
	社有車のチェックシートによる日常点検(交通安全運動)	
	工場設備安全管理(クレーン・フォークリフトの年次点検)	
環境・安全教育訓練	産廃物排出、処分業者説明会への参加	ECO委員会 事務局
	各種環境点検や廃棄物分別処分作業にてOJT実施	ECO・安全衛生委員
	廃油等漏洩や作業事故など緊急事態の想定訓練の実施	

*環境:環境月間 夏エネ:夏の省エネキャンペーン 水週間:水の週間 3R:3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進月間 省エネ:省エネルギー月間 みどり:みどりの月間
*交通安全:春・秋の全国交通安全運動 全国安全:全国安全週間 電使安全:電気使用安全月間 労働衛生:全国労働衛生週間 火災予防:春・秋季全国火災予防 サイバー:サイバーセキュリティ月間

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連の法規等の遵守状況

法令等の名称	適用対象	法規制内容	実施状況	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物 マニフェスト管理	: A票5年間保管する : 毎年県に交付状況を報告する : 写しの交付無い場合は、必要な措置を講じ 知事に報告する (B2、D票: 90日以内、特管が60日) (E票: 180日以内)	2024年度は6月21日、 2025年度は6月9日に 岩手県南振興局へ提出済み	○
	一般廃棄物 産業廃棄物	: 許可を受けた産業廃棄物収集運搬業者に委託する : 契約書の保存5年	岩手県の許可を受けた 業者に依頼している	○
岩手県条例 (循環型地域社会の 形成に関する条例)	産業廃棄物委託業者	: 委託業者の適正処理能力と処分状況を 視察する (1回以上/年)	2024年11月7日と 2024年11月14日に 廃棄物最終処分場等 それぞれ2社視察実施済み	○
改正フロン排出 抑制法	第1種特定製品 : 業務用エアコン : コンプレッサー用 エアードライヤー : 冷蔵・冷凍機器	: 業務用冷凍空調機器は3ヵ月/1回以上の 「簡易点検」を実施する : 7.5kw以上50kw未満の機器は3年に1回以上の 「定期点検」を実施する	簡易点検は実施済み 定期点検は次年度実施予定	○
		: 廃棄・譲渡者は回収依頼書または、 委託確認書を交付し、3年間保存する	依頼書など、 適正に保管している	○
消防法 (危険物関連)	避難訓練	: 防火管理者は消防計画の作成報告をおこなう : 避難訓練の計画と結果報告をおこなう	2024年10月30日に 総合訓練実施済み 期限切れ消火器が複数台あった 2024年12月交換実施済み 期限切れのないよう管理する (有効期限: 製造から10年)	△

関係当局より違反等の指摘や近隣住民から苦情などはありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直し

項目	評価	改善及び指示
環境経営方針	トランプ政権の誕生により、従来の環境ファーストの考え方を見直し、より経済合理性を優先した考え方へ世の中全体が急速に転換した。しかし、気候変動による災害等は年々増加しており、中期的かつ世界的な対策の必要性への認識は不変であると考えます。	方針の見直しは必要ありませんが、上記のアメリカの政策転換により完全電気自動車（バッテリーEV）とそれに関する半導体の需要の減速が著しいため、ハイブリット車関連や需要が急激に増加している生成AI（人口知能）関連にビジネスの重点をシフトしていく必要がある。
環境経営目標	機械稼働時間が下がっているのに対し、電力使用料が増加している原因は、顧客からの仕事の内容が大きく変化しているためです。キャピティ等の放電加工中心からダイセットなどの切削加工中心に変わる中で同等の売上を確保していることは、偏った工程負荷や労働負荷につながっていると思われる。	工程負荷の平準化のためには、新規顧客の開拓にあたっては、放電加工やワイヤー加工などの無人加工時間を増やす内容の仕事ターゲットにすることが希ましい。2021年度はキャピティ（放電加工）が最も多い年度だが、電気による加工という言葉とは裏はらに、機械の稼働時間が長くても電気の使用量は少ない。付加価値の高い仕事を増やすことが、エコにつながると考えてください。
環境経営計画 および 実施体制	電気の使用量の内訳（空調・機械・照明等）調査は非常に有意義な活動だと思います。日常の節電活動だけでは、なかなか大きな効果が見込めません。現状把握は大まかなもので良いです。改善可能なものとそうでないものに分けて、ポイントをしばっての大胆な改善を期待します。	いくら千分の1ミリ精度の機械加工現場だとはいえ、年がら年中、空調つけっぱなし、機械の待機電源入れっぱなしは無いだろうと常に懸念しています。例えば、冬の日中など機械の発する熱を利用すれば、空調を止めても管理温度に留める時間帯もあるのではないのでしょうか？トイレの換気扇ひとつとっても、出勤者のいない土日の間つけっぱなしにもよく遭遇します。自分の家庭だったら絶対にやらないはずですが。まずは1円の節約にこだわるケチケチ精神がエコにつながると信じています。

全体評価

この数年間で、経済や環境問題を国の安全保証と切り離せないものとして大きく価値観が変わりました。その再編の流れは、方向性を見誤れば、会社の存続を左右さえするものと考えています。場合によっては経済合理性を優先して環境目標が未達となることもあるでしょうがやむを得ないことでしょう。2024年度について言えば、前期比増収増益の黒字決算としての結果を残せたことは大いに評価すべきことで、環境経営目標の達成状況は良くありませんでしたが、長期的な視点で改善を重ねていくことに意義があると思います。

以上